

定期点検項目

項目	点検項目・内容	異常等の判定基準
1 本体外部 (目視点検)	ア 本体パネル汚れ目視確認	異常変色無きこと。
	イ 本体パネル腐食確認	運転に支障をきたさないこと。
	ウ 本体異常振動・異常運転音確認	運転に支障をきたさないこと。
	エ 本体周辺油にじみ確認	運転に支障をきたさないこと。
2 熱交換器部 (目視点検)	ア フィンの目詰まり確認(室内外共)	運転に支障をきたさないこと。
	イ フィンの腐食確認(室内外共)	運転に支障をきたさないこと。
	ウ パネルの汚れ確認(室内外共)	異常変色無きこと。
	エ パネルの腐食確認(室内外共)	運転に支障をきたさないこと。
	オ 異常振動・異常運転音確認(室内外共)	運転に支障をきたさないこと。
	カ 霜付き、油にじみ確認(室内外共)	運転に支障をきたさないこと。
3 冷媒サイクル部	ア 圧縮機ターミナル部の緩み異常確認	発熱、変色無きこと。
	イ クランクケースヒーターの確認	変色、劣化無きこと。
	ウ 冷媒ガス漏れ確認	リークテスターにて確認。
	エ 配管の異常振動・異常運転音の確認	運転に支障をきたさないこと。
4 電気配線系統部	ア 操作スイッチの動作確認 (風量、温度設定)	動作に異常無きこと。
	イ 基板上の異常目視確認	変色、腐食無きこと。
	ウ 端子部の緩み確認	ドライバーにて増す締め。
	エ 配線の異常過熱確認	変色、発熱無きこと。
	オ 圧縮機マグネットの動作確認	スパーク、変色無きこと。
5 室内外送風機部	ア モーターの異常音確認	運転に支障をきたさないこと。
	イ ファンランナーの汚れ確認	異常変色無きこと。
	ウ ファンランナーの腐食確認	運転に支障をきたさないこと。
	エ 軸部の異常動作ブレ確認	運転に支障をきたさないこと。
6 運転記録 (パソコンによる データ収集)	ア 電圧測定	定格の±10%以内
	イ 電流測定(圧縮機・送風機)	電流センサー作動内
	ウ 絶縁抵抗測定 (圧縮機・送風機・操作回路)	3MΩ以上
	エ 運転圧力測定	高圧(2.2~4.0MPa)低圧(0.4~1.1MPa)
	オ 運転温度測定(吐出温度・吸入温度) (実測による確認を含む。)	0℃~130℃以内
	カ 空気温度測定(吸込み空気・吹出し空気) (実測による確認を含む。)	設定温度±5℃

※ 室内機の吸込みフィルター清掃は、点検項目から除外する。

簡易点検項目
(フロン法に基づく)

1 パッケージエアコン

No.	項 目
1	室外機の異常振動・異常運転音状況
2	室外機及び周辺の油のにじみ
3	室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など
4	室内機内の熱交換器の霜付きの有無
5	熱交換器の霜付き、油のにじみなど

2 プレハブ冷蔵・冷凍機

No.	項 目
1	冷媒液面の低下はないか(レシーバ等)
2	冷水出入口温度
3	冷却水出入口温度(水冷式)
4	機器の異常振動・異常運転音状況
5	サイドグラス(液ラインに気泡が発生していないか)